

八戸市こどもモニター制度 「もし市長になったら」アンケートの概要

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
こどもモニターの皆さん、ご協力ありがとうございました。

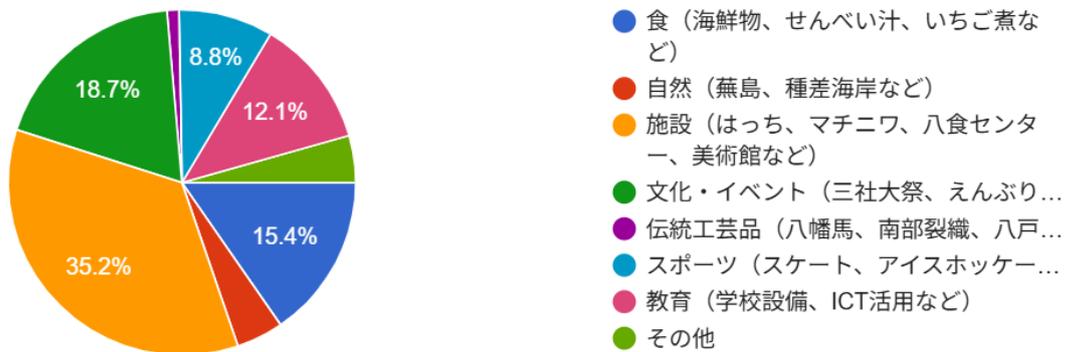
概要

1. 実施期間 令和8年1月15日（木）～1月29日（木）
2. 回答者数・回答率 91人／100人 91%
3. 調査実施者 八戸市こどもまちなかIT部（窓口課：こども未来課）

◆アンケート結果概要 ※問1～3は個人を問う設問のため、省略いたします。

問4 もしも市長になったら、どの分野に力を入れたいですか（ひとつえらぶ）
問5 その他と答えた方へ、どの分野の具体的にどの部分に力を入れたいですか

- ✓ 「施設（はっち、マチニワ、八食センター、美術館など）」が最も多く32人（35.2%）で、次いで、「文化・イベント（三社大祭、えんぶり、七夕祭り、館鼻岸壁朝市など）」が17人（18.7%）、「食（海鮮物、せんべい汁、いちご煮など）」が14人（15.4%）となりました。
- ✓ 施設の充実を特に求めていること、また、地域に根差している文化・イベント・食に対する思いが強いことがわかりました。



食（海鮮物、せんべい汁、いちご煮など）	14人	15.4%
自然（蕪島、種差海岸など）	4人	4.4%
施設（はっち、マチニワ、八食センター、美術館など）	32人	35.2%
文化・イベント（三社大祭、えんぶり、七夕祭り、館鼻岸壁朝市など）	17人	18.7%
伝統工芸品（八幡馬、南部裂織、八戸焼、烏帽子など）	1人	1.1%
スポーツ（スケート、アイスホッケー、サッカー、バスケットボール）	8人	8.8%
教育（学校設備、ICT活用など）	11人	12.1%
その他	4人	4.4%

（その他）観光、中高生の無料で使える（勉強や友達と過ごす）居場所を作る、
八戸駅周辺の開発、映画館を作りたい、子育て支援、漁業・農業・個人経営支援

問6 もしも八戸市長になったら実現したいことを教えてください

いただいたアイデアを5つのテーマに整理しました。

1. 娯楽・賑わいの創出（「遊び場」と「映画館」）

多くの人が「八戸に足りない」と感じている娯楽施設の充実です。

映画館の再設	最も要望が多く、中心街や複合施設への設置を希望
大型アミューズメント	ラウンドワン、イオンのような大型商業施設、屋内遊園地の誘致
若者の居場所	カフェ、映えスポット、アパレルショップ、中高生が無料で使える勉強スペースや交流の場
イベント開催	大規模音楽フェス、食べ物フェス、中心街での自転車レース、プロ野球の試合

2. 暮らしの支援とインフラ整備

日常生活の質を上げ、誰もが安心して暮らせる仕組みづくりです。

経済的支援	お金の配布（子育て世帯）、給食費・義務教育・習い事の無償化、消費税減税、インフルワクチン助成
冬の対策	路面凍結を防ぐロードヒーターの敷設、確実な除雪体制
公共サービス	土日のゴミ回収、街中のゴミ箱設置、市営バスの無料化や利便性向上
学校環境	全校のトイレ改修、体育館への冷暖房設置

3. 空き家・中心街の再生と地域交流

今ある資産を活かし、多世代がつながる街づくりです。

空き家活用	安く販売・賃貸し、改装して多世代交流の場や体験型施設（伝統工芸、フラワーアレンジメント等）にする
中心街・駅周辺の活性化	元三春屋や空きテナントへの誘致、ラピアのような複合施設を街中にも作る
献血×学習スペース	血液センターを再開し、学生の勉強場所と併設することで献血を身近にする

4. 観光・文化・地産地消

八戸ならではの強みを伸ばし、外から人を呼び込む戦略です。

海の活用	海の見える図書館やレストラン、釣り堀体験、海沿いの遊歩道整備
食と文化	いちご煮やせんべい汁の継承、地産地消の推進、祭り（出店）への補助
情報発信	市内の全店舗を網羅した情報誌の発行、遊び場を提案するAIの導入、特産品の宣伝

5. 安全・教育・未来への投資

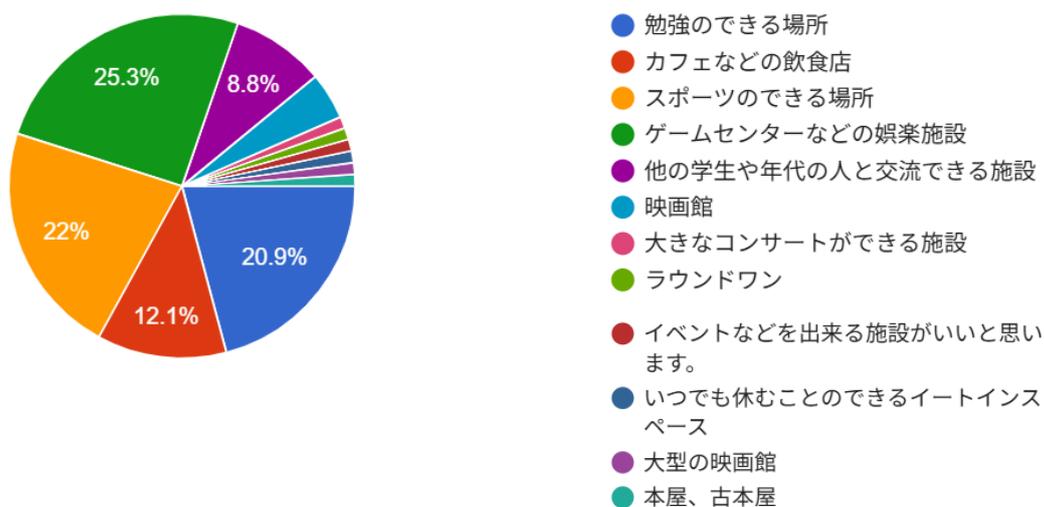
次の世代が育ち、長く住み続けられる土台作りです。

子育て・教育	親が働いていても安心な預かり所、大学進学率の向上、企業の誘致
防災	大地震に強い街づくり、災害時の迅速な対応体制
環境・景観	電柱の地中化、ポイ捨てのない綺麗な街並み、自然の保護

問7 “施設”について教えてください

八戸市にはどんな施設があったらよいと思いますか（ひとつえらぶ）

- ✓ 「ゲームセンターなどの娯楽施設」が最も多く23人（25.3%）で、その他意見でも同じ分野の意見となっており、合わせると33人（36.2%）となりました。
- ✓ 次いで、「スポーツのできる場所」が20人（22.0%）、「勉強のできる場所」が19人（20.9%）となりました。
- ✓ 問3と同様に、特に娯楽施設の充実を求める声が多い結果となりました。また、スポーツ・勉強の場所を求める声も強いことがわかりました。



勉強のできる場所	19人	20.9%
カフェなどの飲食店	11人	12.1%
スポーツのできる場所	20人	22.0%
ゲームセンターなどの娯楽施設	23人	25.3%
他の学生や年代の人と交流できる施設	8人	8.8%
その他	10人	10.9%

問8 “施設”について教えてください

今、八戸市に設置されている公共施設の中で改善してほしいところがありますか

施設ごとに主なものを整理しました。

はっち、 マチニワ	マチニワの冬の寒さ対策（夏は涼しく、冬は暖かく） マチニワの2階の机が低すぎる はっち、マチニワへのゴミ箱設置 はっちやマチニワの机・椅子を増やしてほしい（特にテスト期間中） はっちの飲食禁止エリアへの不満 マチニワに不審者が出るため、安全確保をしてほしい
美術館	ジャイアントルームの机を増やし、勉強できる環境を整えてほしい 展示内容の充実と、より「オープン」で自由な企画（コミケなど）の開催 学生にとっては料金が高く、行きにくい
図書館	閲覧・勉強スペースの拡充、新しい本の導入、ウェブ検索機能の改善 閉館時間の延長、アクセス性の向上（各所への開設） 「入りにくい雰囲気」の改善、おしゃれな外装・内装へのリニューアル
児童科学館	展示コーナーの改装やリニューアル、実験教室などのイベント充実
体育館、 武道館	エアコン（冷暖房）の設置、老朽化の改善、備品の整備
YSアリーナ	一般開放日を増やしてほしい YSアリーナ内の食堂を増やしてほしい
長根野球場	トイレの改修
公園	バスケットゴールの設置、遊具の清掃・修繕
マリエント	体験コーナーの増設
学校	校舎の耐震化と改修（暗くて怖い、避難所としての機能不安）

◆その他意見

- ・アエマ（中心街ビル）に学生が寄りやすいチェーン店や雑貨屋を誘致してほしい
- ・ラウンドワンのような大型娯楽施設の誘致
- ・プリ機の増設
- ・公会堂やYSアリーナ（9,000人収容）に有名アーティストを呼んでほしい
- ・中学生以上が楽しめるイベントや、季節ごと（クリスマス等）の装飾
- ・八戸の相撲をもっと広めたい
- ・汚い場所の改善、和式から洋式への変更、清潔なトイレの増設
- ・八戸線各駅への駐車スペース確保
- ・バス運賃の引き下げ
- ・街中の高い駐車料金への不満
- ・八戸駅周辺に「はっち」のようなフリースペースがほしい
- ・大型施設の耐震技術向上
- ・マンション建設ばかり進むことへの疑問

問9 “文化・イベント”について教えてください
 どのようなイベントがあったら行ってみたいですか（いくつでも）

- ✓ 「キッチンカー、屋台など食に関するイベント」が最も多く 58 人（63.7%）で、次いで、「音楽に関するイベント」が 52 人（57.1%）で、特に大きく期待されています。
- ✓ また、「他国・他地域の文化を体験できるイベント」が3位となり、多文化共生につながる取組も求められることがわかりました。

他の年代の人などとの交流イベント	21 人	23.1%
音楽に関するイベント	52 人	57.1%
進路などについて、自由に質問できるイベント	19 人	20.9%
キッチンカー、屋台など食に関するイベント	58 人	63.7%
他国・他地域の文化を体験できるイベント	33 人	36.3%
その他	4 人	4.4%

（その他）ハンドメイド等の体験イベント、ゲーム大会など若い世代が盛り上がるイベント、スポーツイベント、芸術に関するイベント

問10 “文化・イベント”について教えてください
 “三社大祭”や“えんぶり”などを盛り上げ、より多くの人に知ってもらうには、
 どうしたらよいと思いますか（ひとつえらぶ）

- ✓ 「SNS（インスタ・Xなど）を利用して発信する」が最も多く 66 人（72.5%）で、他を大きく引き離して1位だったほか、「学校などでほかの地域との交流会などを行う」も求められていることがわかりました。

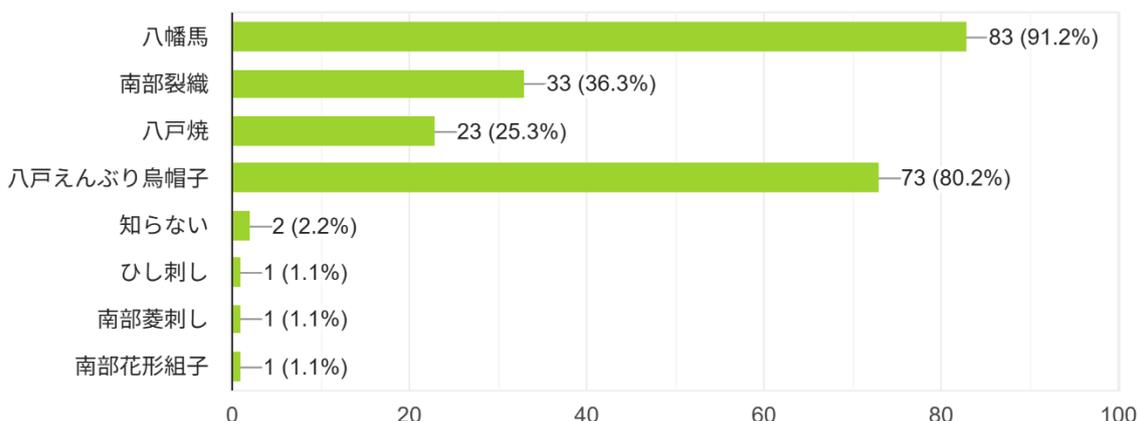


チラシ・手紙を作成し配布する	5 人	5.5%
SNS（インスタ・Xなど）を利用して発信する	66 人	72.5%
学校などでほかの地域との交流会などを行う	16 人	17.6%
その他	4 人	4.4%

（その他）人の往来の多い駅(首都圏)などに大きなポスターやデジタルサイネージに動画を流す
 その時期に八戸に来やすいような旅行プランをたてる
 学生目線で SNS を利用して発信する
 地元の人が盛り上げてきたのに、最近は、観光客が1番になってる。地元の方は、それに縛られすぎてる気がする

問 11 “伝統工芸品”について教えてください
 八戸市の伝統工芸品について知っているものを教えてください（いくつでも）

- ✓ 「八幡馬」が 83 人（91.2%）、「八戸えんぶり烏帽子」が 73 人（80.2%）で、どちらも 8 割以上となり、多くの子どもたちが知っている状況となりました。
- ✓ 「南部裂織」、「八戸焼」は、一定程度は知られていますが、まだ認知度が低いことがわかりました。



問 12 “伝統工芸品”について教えてください
 伝統工芸品について、より多くの中高生に知ってもらい、そしてこれからも残していくにはどうしたらよいと思いますか（ひとつえらぶ）

- ✓ 「実際に体験できるイベントの施設」が 47 人（51.6%）で、SNS 発信が必要という意見よりも、多い結果となりました。
- ✓ また、その他の意見では、学校での体験が必要という意見が多いことから、実際の体験が認知度を高めるために重要ということがわかりました。

実際に体験できるイベントの施設	47 人	51.6%
伝統工芸品の展示（美術館、博物館など）	11 人	12.1%
SNS（インスタ、X など）を利用して発信	26 人	28.6%
その他	7 人	7.7%

（その他）学校の授業で学ぶ

学校規模でイベントを開き、伝統工芸品を作成する体験をしてもらう。その際、伝統工芸品を使っている場所が書いてある紙などを配布する。伝統工芸品を作ることで、お金をもらえるようにする。そうすることで、アルバイトができない子などは積極的に参加すると思う。

身近なものにしてみる（キーホルダー、イラストのついたものなど）

学校などの教育施設で実際に体験してもらう。

制服に刺繍やバッチなどとしてとり入れる

学校の授業に取り入れる

授業の一環としてもっと取り入れる

問13 "スポーツ"について教えてください
 八戸市のスポーツチームについて、知っているものを教えてください
 (いくつでも)

- ✓ 「ヴァンラーレ八戸（サッカー）」は、ほぼ全員が知っている状況となりました。
- ✓ また、「東北フリーブレイズ（アイスホッケー）」、「青森ワッツ（バスケットボール）」も75%以上となり、高い認知度があることがわかりました。

ヴァンラーレ八戸（サッカー）	89人	97.8%
東北フリーブレイズ（アイスホッケー）	70人	76.9%
HACHINOHE DIME（3人制バスケットボール3X3）	25人	27.5%
青森ワッツ（バスケットボール）	69人	75.8%
知らない	2人	1.1%
その他	2人	1.1%

(その他) 八戸市役所の野球チーム、SIGNEIGHT（スピードスケート）

問14 "スポーツ"について教えてください
 どのようなスポーツ交流があったら嬉しいですか（ひとつえらぶ）

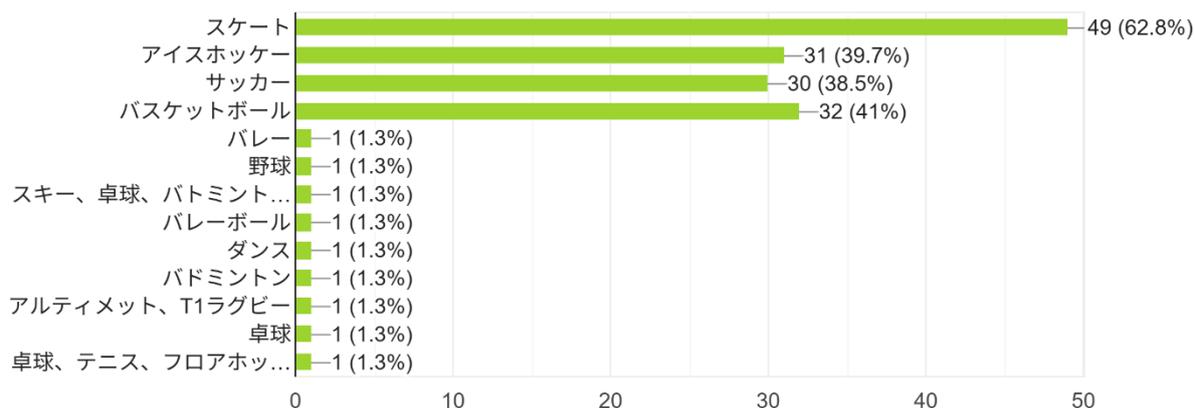
- ✓ 「実際にスポーツを体験することができる」が最も多く68人（74.7%）で、次いで「選手の方々のお話を聞くことができる」が19人（20.9%）となりました。
- ✓ 多くの子どもたちが「実際にスポーツを体験することができる」機会を求めていることがわかりました。



実際にスポーツを体験することができる	68人	74.7%
選手の方々のお話を聞くことができる	19人	20.9%
その他	4人	4.4%

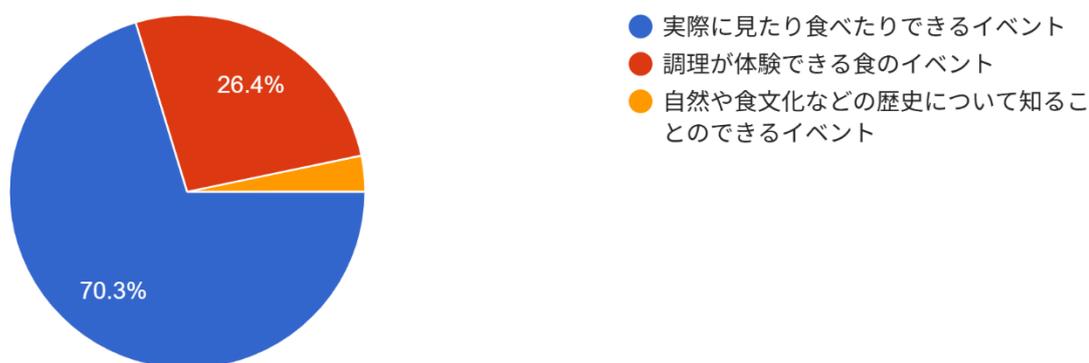
問 15 問 14 で「実際にスポーツを体験することができる」と答えた方に質問します
実際に体験するなら何のスポーツがしたいですか（いくつでも）

- ✓ 「スケート」が最も多く 49 人（62.8%）で、次いで「アイスホッケー」、「サッカー」、「バスケットボール」が約 30 人（約 40%）で同程度となりました。
- ✓ その他としては、卓球、野球、スキー、バトミントン、テニス、アルティメット、T1 ラグビー、ダンス、フロアホッケーといった意見もありました。



問 16 "自然"、"食" について教えてください
どのようなイベントがあったらよいと思いますか（ひとつえらぶ）

- ✓ 「実際に見たり食べたりできるイベント」が最も多く 64 人（70.3%）で、次いで「調理が体験できる食のイベント」が 24 人（26.4%）となりました。
- ✓ 多くの子どもたちが「実際に見たり食べたりできるイベント」を求めていることがわかりました。



実際に見たり食べたりできるイベント	64 人	70.3%
調理が体験できる食のイベント	24 人	26.4%
自然や食文化などの歴史について知ることのできるイベント	3 人	3.3%

問 17 "自然"、"食"について教えてください

現在の自然（燕島や種差海岸など）を保持するためには、どうしたらよいと思いますか

いただいたアイデアを「清掃・保全」「教育・啓発」「観光・PR」「仕組み・設備」の4つの柱に整理しました。

1. 清掃・環境保全活動（最も多い意見）

- 定期的なゴミ拾い
2ヶ月に1回などの定期開催、ウォーキング・釣り・食事（海鮮丼）と組み合わせた気軽に参加できるイベント型企画
- 多様な主体の参加
小学生からお年寄りまで多世代での実施
学生（中高生）の校外学習や行事としての参画
- ボランティアの活用
ボランティアスタッフの募集、育成、および管理人の充実
- ルールの徹底
ポイ捨て、バーベキュー、ウミネコへの餌やりの禁止など、当たり前前ルールの遵守

2. 教育・意識啓発（知ること・伝えること）

- 学校教育での展開
授業や課外活動で八戸の自然の歴史や価値を学び、愛着を育む
- 情報の可視化
自然の素晴らしさだけでなく、「冬場は人が来ない」といった現状や課題を共有
- 興味を惹くコンテンツ
講演会の開催、ショート動画の作成、歴史解説など

3. 観光促進・情報発信（自然を守りつつ、多くの人に訪れてもらうためのPR）

- SNSの活用
中高生によるインスタグラム発信や、短い動画での魅力発信
- メディア露出
テレビ、広報誌、チラシ、ポスター（駅など人の集まる場所）での宣伝
- 体験型観光（エコツーリズム）
船に乗る体験や虫取り（不習岳）など、魅力的なアクティビティの提供
- ターゲットを明確化した取り組み
若者、市民（まずは地元住民に魅力を再確認してもらう）、観光客

4. 仕組み・設備の整備（持続可能な管理のため）

- ゴミ対策
ゴミ箱の増設、ゴミ捨て場の設置、持ち帰りの徹底
- インフラ整備
道路整備、道の駅の設置、交通の便の改善
- 資金確保
観光収益や観光税、国・県・市への協力要請、予算の増額
- 監視・規制
ルール違反者への厳格な対応（罰則や出禁など）、看板の設置、警備の強化
- 宿泊・滞在
ホテルなどの宿泊施設を設け、滞在型観光を促す

問 18 “教育”について教えてください
 学校・教育で一番力を入れてほしいところはどこですか（ひとつえらぶ）

- ✓ 「学校設備（環境）」が最も多く 36 人（39.6%）で、次いで「校則の見直し」が 24 人（26.4%）、「進路について、より詳しく知る機会がほしい」が 18 人（19.8%）となりました。

学校設備（環境）	36 人	39.6%
ICT 活用について	7 人	7.7%
進路について、より詳しく知る機会がほしい	18 人	19.8%
校則の見直し	24 人	26.4%
その他	6 人	6.5%

（その他）・どこかの地域では、受験できる県立高校の選択肢が 2 つあるので、八戸でも同じ取り組みをしてほしい。

- ・児童の希望に応えた体験活動を増やすこと。
- ・子供の気持ちに寄り添える先生を選ぶこと。
- ・教育現場ではもっと、若者がインターネット以外の趣味を持てるようにいろいろなアクティビティをするべきです。また、戦争と差別の愚かさをもっと伝えられるような話を伝えるべきです。
- ・いじめや不登校を見逃さない。
- ・先生の質を上げる。

問 19 問 18 で選んだことについて、具体的にどのようなところに力を入れてほしいですか

いただいたアイデアを 5 つの項目に整理しました。

1. 校則・制度の見直し（最も意見が集中した分野）

身なり・髪型の自由化	ツーブロック禁止、ポニーテール禁止、前髪の長さ指定などの緩和。個性として認めてほしい。
服装の柔軟化	夏の暑さや冬の寒さに合わせたジャージ登校の許可、制服（特にスカートの寒さ）の見直し。
校則の「根拠」の明確化	先生が理由を説明できない校則は廃止し、生徒自身が話し合っで見直せる仕組みづくり。
部活動	全員強制入部の廃止。

2. 学校設備・環境の改善（老朽化への不安と快適な学習環境）

空調設備	冷暖房の使用条件の緩和、廊下や体育館への設置。
老朽化・安全対策	耐震補強（特に地震被害を受けた東高校などへの支援）、雨漏り修理、トイレの改修（清潔さ・増設）。
バリアフリー	エレベーターやスロープの設置、誰にでも優しい施設づくり。
学習ツール	ノート PC（Chromebook）の導入、持ち運びやすさの改善、ICT 教育の早期開始。
その他	図書室の本の充実、ロッカーの設置、机・椅子の更新、放送機器の新調。

3. 進路指導・キャリア教育の充実（「将来」を具体的にイメージ）

職業体験の強化	八戸で働く人の話を聞く、職場体験・見学の復活、キッザニアのような職業体験。
大学・高校情報の提供	首都圏の大学情報の提供、高校生による中学校への学校紹介、実体験型のオープンキャンパス。
多様な体験	勉強だけでなく、野鳥観察やプログラミング、芸術など視野を広げる放課後活動。

4. メンタルケア・教育の質（生徒一人ひとりに寄り添う体制）

相談体制	スクールカウンセラーの充実、先生以外にも相談できる環境（定期的な面談）。
不登校支援	不登校の生徒に対する具体的な取り組み。
教員の質	先生の言動や適性のチェック、ハラスメント対策。

5. 地域・その他

学校独自の要望	プールの設置、渡り廊下の撤去、シャトルランの廃止（町畑小）、ラグビー場の芝生化（八戸高）。
放課後の居場所	中学生だけで遊技場に行けるようにするなど、放課後の行動範囲の緩和。

以上